

平成29年2月20日  
九州電力株式会社『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』  
に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

		[kW]	
指示日時	平成29年2月18日（土） 16 時 6 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年2月19日（日） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の合計	最大余剰電力発生時刻	14時	
	出力制御必要量	1,040	
	制御設備量 <sup>※</sup>	2,554	
最大余剰電力 発生時点の 予想需給状況	エリア需要予想	15,300	
	発電出力合計	16,340	
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	8,250
		自然変動電源	8,090
その他		—	
その他	—		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値

以上

## 『再生可能エネルギーの固定価格買取制度』 に基づく出力制御指示に関する報告

当社は、電力の安定供給確保の観点から、火力機抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量（発電出力合計）が、その需要量（エリア需要予想）を上回ることが見込まれたことから、出力制御必要量を満たす自然変動電源事業者さまに対して、以下の内容で、出力制御指示を行いました。

		[kW]	
指示日時	平成29年2月24日（金） 16 時 8 分		
対象エリア	九州エリア 種子島		
出力制御期間	平成29年2月25日（土） 09時00分～16時00分		
出力制御指示 を行った出力 の合計	最大余剰電力発生時刻	13時	
	出力制御必要量	360	
	制御設備量 <sup>※</sup>	1,000	
最大余剰電力 発生時点の 予想需給状況	エリア需要予想	17,600	
	発電出力合計	17,960	
	内 訳	水力	—
		火力 （内燃力機最低出力）	9,000
		自然変動電源	8,960
その他		—	
その他	—————		

※出力制御指示を行った自然変動電源事業者さまの制御設備量の合計値